

海岸林再生プロジェクト 第2次10ヵ年計画（2011 - 2024年）実績 （宮城県名取市）

【事業コンセプト】 ～9つの実行システムを確立し、目標を達成した～

1. 官民協働の大規模協定（県内海岸林復旧対象約1,100haのうち名取市全長5km・103.05ha）
2. 大規模苗木供給体制（宮城県内必要本数600万本中、生産実績約40万本）
3. 地元に雇用創出（当初計画以上の雇用を実現）
4. 効率的な一貫施業（育苗～植栽～育林を一貫管理）
5. 低コスト林業（自家生産の優良苗木で、購入より低コストと、99.2%の高生育率を証明）
6. 本数調整伐の着手（全国海岸林で初の本格的な本数調整伐。植栽7年後の2022年1月に開始）
7. 専門家との調査協働（森林総研、名古屋大院等と人工盛土への海岸防災林造成の知見を残す）
8. 市民参加の実現（ボランティアを「戦力」と考える。プロともに無事故継続）
9. 民間活力・民間資金導入（大半を民間寄附金・助成金で実施中）

【実績総括】

- **協定締結面積：103.05ha** 名取市海岸林全長5km×平均林帯幅200m
内訳：国有林：2.91ha、県有・市有林・共有林：96.4ha、内陸防風林共有林等：3.74ha
*2020年5月、新規治山事業（県）北釜地区6.42ha（植栽対象3.75ha）を追加協定した。
- **植栽面積：72.46ha**
*協定区域の生物多様性配慮ゾーン・自転車道・作業道・盛土法面・防風垣個所は植栽できない。
*育苗場初播種は2012年3月。2年の育苗を経て、初植栽は2014年4月。
*2018年5月、名取市海岸林全長5kmはクロマツでつながり、復旧対象（国事業）植栽完了。
*2020年5・10月、追加の治山事業（県）として北釜地区旧宅地・乗馬場跡3.75haに植栽完了。
- **植栽本数：370,198本 活着率：99.2%** *植栽7年間平均値
*宮城県産マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ・精英樹クロマツ
*広葉樹11種・684本（ケヤキ・コナラ・ヤマザクラ・オオシマザクラ・ウワミズザクラ・クリ・エノキ・ツバキ）
*苗木出荷本数 403,271本（うち68,288本は、県内他地区の公共工事などに協力）
- **総雇用総数：10,981人** *8時間/日人
*当初計画では、2033年までに育苗・植栽・育林で約11,400人の雇用を計画
- **ボランティア：のべ15,247人** （2024年度末時点）
- **寄附金・民間助成金等総額 約9.6億円**
*2021年～2033年の育林の費用等として積立を開始。現時点で大量枯死など予想外の支出、取崩もなく計画通り積立実行中。2021年3月末現在の積立総額は約3億円。積立金取り崩しで、第2・3次10ヵ年計画で活用する。

【啓発普及活動 累計実績】

*活動報告会・講演会	302回・45,202人（22都道府県）
*日本人視察者	3,765人
*外国人視察者	64カ国・298人
*写真パネル展	92回
*国内メディア等紹介	316回
*HP ブログ更新	2,826回更新（震災から14年間）
*寄附金募集パンフレット配布数	約29万枚
*寄附者数	2,220人（オイスカ会員3割）
*寄附総額	約9.6億円（うち積立金 約3億円）

【実績総括表】

(2025.3.31 現在)

		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	累計	
育 苗	播種数	-	97,500	72,500	87,250	89,856	96,400	57,000	45,800	3,000	3,000	-				552,306	粒
	発芽率	-	95	91	94	94	91	96	95	87	93	-				93.3	%
植 栽	面積	-	-	-	15.67	10.06	11.00	13.66	16.32	2.00	3.75	-				72.46	ha
	本数	-	-	-	80,182	55,084	56,037	71,945	81,600	6,000	19,350	-				370,198	本
	活着率	-	-	-	98.4	98.0	98.3	99.8	99.8	100.0	100	-				99.2	%
	間伐											10.13	22.78	25.97	16.21	66.84	ha
	総雇用数	-	187	507	1,221	985	1,109	1,309	1,164	814	620	1,148	675	675	569	10,981	人
市 民	市民参加	-	-	262	1,365	1,691	1,800	2,096	2,273	1,892	270	313	1,194	1,194	1,223	15,247	人
	視察人数	263	580	837	567	577	183	231	148	73	14	72	103	103	53	3,765	人
	報告会	523	4,772	5,900	4,692	4,996	3,893	5,911	4,178	3,347	1,392	3,633	480	480	944	45,202	人
	報告会	4	43	28	30	30	26	30	22	24	11	22	11	11	11	302	回
	メディア	24	39	27	33	38	20	23	21	7	36	22	8	8	3	316	回

【今後の見通し】

○第2次10カ年計画（2021年～2030年）

2021年にSDGsの趣旨に添い、Eco-DRR（森林など生態系を活用した防災・減災）を念頭に置き、積立金（特定費用準備資金）等を活用して事業継続する。

2021年以降継続する業務として、下刈、排水溝修復・増設、ツル切り・除伐、本数調整伐（間伐）、作業道維持管理、生長モニタリング・本数調整伐調査、マツクイムシ被害防止対策、定期巡視、各種啓発活動等。長期目標としては、第3次10カ年計画までは育林に関わる。

○募金受付に関して

2021年3月末をもって積極的な寄附呼びかけは終了したが、助成金収入のほか、寄附継続希望もいただいております。寄附金受付口座は閉鎖せず継続中。

以上